

生活者 ネットワーク 区議レポート

No.25



きみがき圭子

橋本けいこ



やない克子

2017年3月25日

発行責任者 やない克子

〒176-0001

練馬区練馬1-15-1 堀越ビル303

TEL 03-3948-6408

FAX 03-5999-4632

Eメール: net-gikai@jcom.home.ne.jp

http://nerima-seikatsusya.net

※上記より区議レポートのバックナンバーと
政務活動費の収支報告がご覧になれます。

第一回定例区議会が予算特別委員会を含め、
2月8日～3月15日に開催されました。

昨年、児童福祉法が改正され、児童虐待について身近な自治体で発生予防から自立支援まで切れ目のない対策を強化することになりました。

児童相談所は、児童虐待発生時に迅速・的確な対応ができるよう、相談・調査・保護の権限を持っていますが、都内に11カ所しかありません。

子どもを救え! 練馬区にも 児童相談所を

増え続ける相談件数

児童虐待の内容は、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト(育児放棄・怠慢)、心理的虐待と多岐にわたり、児童相談所の相談対応件数も毎年増え続け、2016年度は全国で10万件を超え、東京都は大阪府に次いで1万件を超えています。

各区の対応

23区においては、22区が既に自区内への児童相談所の設置に向けて検討中で、虐待死が起きた江戸川区をはじめ、世田谷区、荒川区などは早速2017年度の予算に計上しています。しかし、練馬区だけは、区長が「区内に必要ない。検討する考えもない」とかたくなな姿勢です。

区では現在、虐待に関する相談は主に区内5カ所の子ども家庭支援センターで



健康福祉委員会
清掃・エネルギー
等特別委員会

区議会議員

きみがき 圭子

http://kimigaki.seikatsusha.me

こんな活動にも参加しています

- 1/9 9条の日・成人の日のつどい遊説
- 1/16 NPOやまぼうし視察
- 1/21 講演会「道徳の教科化は何をねらっているのか」



- 2/5 講演会「家族と日本国憲法」
- 2/11 外環道工事説明会
- 2/17 石神井公園駅南口西地区市街地再開発事業検討状況報告会
- 2/17 練馬区の清掃リサイクル事業を考える～東日本大震災から5年が経過して～
- 2/19 ざっくばらんと～「市民のト〜ク☆カフェ」



毎月9日は9条の日として憲法9条をアピールしています。今年は成人の日のつどいとも重なり、新成人へ平和と脱原発を訴えました。



「いじめ」や「高齢者の働き方」をテーマにワークショップを行いました。

対応し、そのうち重篤な問題は新宿にある児童相談センターにつないでいます。区内における2015年度の相談件数は2834件で、児童虐待件数は545件、児童相談センターにつないだ件数は61件、保護した件数は8件あります。しかし、児童相談センターは練馬区だけでなく都内9区と島しょを担当し、更に他の10カ所の児童相談所を援助する中央相談所としての役割を担っています。担当地域がますます多くなる中で、対応が遅れることも考えられます。

子どもの命が最優先
2015年度に虐待を受けて死亡した18歳未満の子どもは全国で44人。「もっと早く対応していれば救えたのに」という事件が毎日のように起きています。子どもの命を救うためには、直接対応できる児童相談所を身近なところにつくるのが、最も優先されなければなりません。区長は「設置は不可能」と言い切っていますが、子どもの生きる権利・育つ権利を保障するために「不可能」が「可能」になるよう、全力をつくすべきです。

区は、練馬区独立100周年となる30年後を想定し、「(仮称)都市のグランドデザイン」を2018年度に

まちづくり 子どもの声を



議会運営委員会
企画総務委員会
医療・高齢者等
特別委員会

区議会議員
やない 克子

<http://yanai.seikatsusha.me>

策定すると発表しました。私たちはこれまで、まちづくりに子どもたちの「参画」を求めてきました。ところが、記者発表資料では「『夢のあるまちづくり』を進めます」と、ピットリマークをつけているのに、策定までのスケジュールはこれまでと変わり映えしません。予算特別委員会の質疑で明らかになったのは、区がつくる素案を区民に理解してもらおうという従前パターンです。

区民が将来実現したい練馬区の姿を描くためには、世代を超えた多くの区民が集まり、自由闊達に議論し、ゼロベースからつくり上げていく時間と空間が必要です。特に、将来を担う子どもたちが企画の段階から参加する「参画」が不可欠です。

練馬区独立70周年の記念事業では、区民協働事業として「子どもたちが地域の未来を考えるワークショップ」をおこないますが、このような単発的な取り組みだけではなく、「まちづくりに常により子どもが参画するしくみをつくる」という発想の転換が必要です。子どもたちが参画することで、練馬に愛着を持ち、さらに地域に関わるおとなになることが期待できます。



練馬清掃工場建て替えの時も、鉛、六価クロム、ヒ素による土壌汚染が問題となり、最近では水銀排出事故がありました。化学工場よりも危険といわれる清掃工場が、住宅地の中にあることの不安に向き合おうとしない、危機感を欠いた説明会でした。

編集後記

「前川さん」の名が、元東京都知事本局長で東京ガスに付度する...なんだかモヤモヤ。議会って何? 議会がしっかりとチェック機能を果たさないと、「議会も悪い」と区民に言われたらおしまい! (M)

Information

区政報告会
4月9日(日)12時より
於:練馬駅中央口

第二回定例区議会
6月9日(金)~
7月7日(金)
開催予定

強いこの予算を認めるわけにはいきません。

地域包括支援センター 機能強化は 区の責任で!



環境まちづくり
委員会
交通対策等
特別委員会

区議会議員
橋本 けいこ

<http://khashimoto.seikatsusha.me>

高齢者相談センターをこ存じですか? 地域で高齢者や家族の相談に応える一番身近なセンターで、区内に本所が4カ所、支所が25カ所あります。

から、高齢者相談センターの組織を改編して「地域包括支援センター」と名称を変更、機能強化を図ると発表しました。

改編により、25カ所の支所がすべて本所となり、区内4地域にある総合福祉事務所と連携します。

各地域包括支援センターに「医療・介護連携推進員」を配置して、退院時の支援や在宅療養など、医療と介護に関する相談と支援を充実します。さらに、「訪問支援員」を2名づつ増員し、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯をボランティアとともに訪問します。



4月から「地域包括支援センター」のモデル事業を開始する石神井高齢者相談センター 富士見台支所

区民にとっては、機能強化は望ましいことです。しかし、医療や介護の相談を民間に任せてしまうのは、個人情報保護の点で悪用や漏えいの心配があります。また、これまで区が直営で行なってきた「公的機関としての機能」を民間事業者が担うことは公平・公正を欠く運営も懸念されます。

区の責任として各センターの運営をチェックし、高齢者施策に反映させるしくみづくりが必要です。

今回の改編で「地域包括支援センター」が、高齢者や介護する家族だけでなく、誰もが安心して暮らせる地域の中核になるよう、働きかけていきます。

光が丘清掃工場 建て替え説明会

光が丘団地内にある清掃工場が建て替えのための解体工事に入っています。1月下旬、練馬区まちづくり条例に基づき近隣住民への説明会が開催されました。騒音・振動・粉じん・アスベスト飛散などに心配の声が続出しましたが、最新の技術で対処するから大丈夫とのことでした。そのために投じられる多額の税金については触れませんでした。また、工場跡地からふっ素、ヒ素が検出されたことが追加として報告され、参加者が汚染原因や除去費用について質問しましたが、担当職員は答えられませんでした。

2017年度予算に 反対!

約2515億円の一般会計予算は、話題になっている保育や高齢者対策に集中して配分されませんが、まだまだ不十分です。70周年記念事業のイベント経費など、区のイメージアップのためにかける宣伝費は貧困対策に回すべきと考え反対しました。介護保険会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計については国の社会保障として抜本的な改革が必要であり、区民に多くの負担を強いこの予算を認めるわけにはいきません。